

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品情報

製品名 リディア NT 箱粒剤

会社情報

会社名 株式会社 MMAG

担当部署 事業推進部

住所 〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目 19 番 1 号

電話番号 03-5290-5857

Fax 番号 03-5290-5859

緊急時連絡電話番号 中毒 110 番

(休日、夜間など)

<一般市民専用無料電話>

大阪中毒 110 番 (365 日 24 時間対応)

072-727-2499 (情報提供料：無料)

つくば中毒 110 番 (365 日 9 時～21 時対応)

029-852-9999 (情報提供料：無料)

<医療機関専用有料電話>

大阪中毒 110 番 (365 日 24 時間対応)

072-726-9923 (1 件につき 2,000 円)

つくば中毒 110 番 (365 日 9 時～21 時対応)

029-851-9999 (1 件につき 2,000 円)

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円が徴収されます。

推奨用途及び使用上の制限

農薬登録範囲外の使用は不可 (農業用殺虫剤)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 1A
特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)	区分 1 (呼吸器、腎臓、 免疫系)

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性)	区分 2
水生環境有害性 (慢性)	区分 2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない、あるいは分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

遺伝子疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

長期にわたる、または反復ばく露による呼吸器、腎臓、免疫系の障害
水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い後は顔と手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。
漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

粉じん爆発を起こす可能性がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	含有濃度(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
フルピリミン	2.0	1689566-03-7	-	8-(1)-4152
鉍物質微粉等 うち	98			
結晶質シリカ	50-60	14808-60-7	(1)-548	既存
酸化チタン	< 0.5	13463-67-7	(1)-558	既存

4. 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

多量の水と石けんで洗う。
汚染した衣服、靴、靴下を脱がせ遠ざける。

眼に入った場合

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の手当、診断を受ける。
水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合は、医師の手当、診断を受ける。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂、霧状水など。

使ってはならない消火剤

火災が周囲に広がるおそれがあるため直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

火災時に有毒ガスが発生するおそれがある。

特有の消火方法

消火作業は、可能な限り風上から行う。
火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。
周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。
火花を発生しない安全な用具を使用する。
大量の場合は、漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて、紙袋またはドラム缶等に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

接触回避

情報なし

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
作業衣を家に持ち帰ってはならない。

保管

技術的対策

静電気放電に対する予防措置を講ずる。

安全な保管条件

直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料

情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

鉱物性粉じん $E=3.0/(1.19Q+1)$
E：管理濃度(mg/m^3)、Q：遊離ケイ酸含有率(%)

許容濃度

日本産業衛生学会	吸入性結晶質シリカ	0.03 mg/m^3
ACGIH	吸入性結晶質シリカ	TWA 0.025 mg/m^3

設備対策

できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設置する。

適切な保護具

呼吸用保護具	農薬用マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服、長ズボン

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質の基本情報

物理状態	細粒
色	淡褐色～褐色
臭い	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び 爆発上限界／可燃限界	該当しない
引火点	該当しない
自然発火点	該当しない
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	該当しない
蒸気圧	データなし
密度及び相対密度	データなし
相対ガス密度	該当しない
粒子特性	粒度 300～1,700 μm 95%以上

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

直射日光、高温、多湿

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

通常の条件下では生成しない。
加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

製品の毒性情報

急性経口毒性	ラット雌 LD ₅₀ > 2,000 mg/kg
急性経皮毒性	データなし
急性吸入毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験：刺激性なし
眼に対する	ウサギを用いた眼刺激性試験：軽度の刺激性
重篤な損傷性／刺激性	
呼吸器感受性	データなし
皮膚感受性	モルモットを用いた皮膚感受性試験：陰性
生殖細胞変異原性	混合物は区分2の結晶質シリカを1.0%以上含有し、混合物としては区分2に該当する。
発がん性	混合物は区分1Aの結晶質シリカを0.1%以上含有し、混合物としては区分1Aに該当する。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器／全身毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器／全身毒性 (反復ばく露)	混合物は区分1(呼吸器系、腎臓、免疫系)の結晶質シリカを10%以上含有し、混合物としては区分1(呼吸器系、腎臓、免疫系)に該当する。
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	
【水生環境急性有害性】	魚類(コイ) 急性 LC ₅₀ >1,000 mg/L(96 h) オオミジンコ 急性遊泳阻害 EC ₅₀ 360 mg/L(48 h) 藻類 生長阻害 ErC ₅₀ 5.2 mg/L(0-72 h) 上記の藻類データに基づき、区分2とした。
【水生環境慢性有害性】	上記の藻類データに基づき、区分2とした。
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄に関する法規および地方自治体の基準に従い廃棄する。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者または地方公共団体に委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	3077
品名	環境有害物質（固体）
国連危険物分類	クラス 9
副次危険性	-
容器等級	III

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	3077
品名	環境有害物質（固体）
国連危険物分類	クラス 9
副次危険性	-
容器等級	III
海洋汚染物質	該当する

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	3077
品名	環境有害物質（固体）
国連危険物分類	クラス 9
副次危険性	-
容器等級	III

国内規制

陸上規制情報	道路法の規定に従った容器・包装・表示、積載・輸送方法により輸送する。
海上規制情報	国際規制に準ずる。 船舶安全法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。
航空規制情報	国際規制に準ずる。 航空法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

171

特別の安全対策

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

本製品に適用される法規制

農薬取締法	適用(農林水産省登録第24504号)
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	表示対象物 結晶質シリカ 通知対象物 結晶質シリカ、酸化チタン
化学物質排出把握管理促進法	非該当

16. その他の情報

引用文献	日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists TLVs and BEIs 国際連合 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) (改訂7版)
------	---

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。なお、注意事項等については通常の手続きを適用したものですので、特別な取り扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。